

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		<基本理念> ・どの様な疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリカバリーを支援する。							
支援方針		・お子様を中心に、保護者様と連携しながら、コミュニケーションや社会性の獲得に取り組みます。 ・科学的根拠に基づいた支援を重視し、Early Start Denver Model（ESDM）などを活用した支援プログラムを構築・実践します。							
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・お子様の身辺自立を目指し、段階的に課題を組み込むことで、衣類の着脱や物の整理などを習得できるよう支援します。 ・施設内での習得内容がご家庭や保育所等でも実践できるよう、お子様の発達や特性に応じた支援します。							
	運動・感覚	・ボールを使った粗大運動やプットインなどの微細運動に取り組めるように支援します。 ・お子様が姿勢保持し、着席行動もできるよう、個々に合った机やイス、パーティションを整え、集中しやすい環境を提供します。 ・感覚の偏りに配慮し、玩具や教材、おやつ触感や味にバリエーションを持たせ、無理なく活動できるよう支援します。							
	認知・行動	・玩具やマッチング課題やパズル等の教材を通して、認知能力の向上を図ります。 ・お子様が楽しんで取り組める、興味や発達に合わせた課題に取り組みます。 ・不適切な行動が見られた際には、安全に配慮した上で過度に注目せず、適切な行動が身につくように工夫します。							
	言語 コミュニケーション	・言語、非言語のコミュニケーションの基礎となるスキルの段階的な習得を目指します。 ・環境設定を行い、他者に要求を伝える、また他者と物や活動を共有し、関わることの楽しさを学べるよう支援します。 ・情動調整をできるように支援します。							
	人間関係 社会性	・くすぐり遊びや手遊び等の活動を行い、他者と関わることの楽しさを伝えます。 ・お子様の選択した活動の中でも順番交代等を伝える機会を設け、生活内でも実践できるよう支援します。 ・他者に注目する、模倣することやお子様からの発信を増やすことで、社会性を身につける基礎を育みます。							
家族支援		・必要に応じてお子様の療育に同席していただき、支援を実際に見学する機会を設けます。 ・お子様だけでなくご家族が抱える困りごとを日常的に聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるよう対応策等を一緒に考え相談します。				移行支援		・地域の幼稚園や保育所および他事業所、児童発達支援センターへの移行を行うことがあります。	
地域支援・地域連携		・お子様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを行います。また、お子様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育関係機関等と連携を図ります。				職員の質の向上		・法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。	
主な行事等		・保護者様とお子様と季節を感じられるよう、取り組み内容（手遊び歌や制作課題など）に季節を表現する物を組み込んでいます。							